

男女共同参画社会に関する意識調査
報告書

平成 27 年 3 月

栃 木 県

I 調査概要	1
1. 調査目的	3
2. 調査項目	3
3. 調査設計	3
4. 回収結果	3
5. 集計・分析にあたって	4
6. 標本設計	5
II 調査結果	9
1. 回答者の属性	
(1) 性別	11
(2) 年代	11
(3) 結婚の状況	12
(3-1) 配偶者の職業	12
(4) 世帯構成	13
(5) 乳幼児・高齢者との同居	13
2. 男女平等に関する意識について	
(1) 「男は外で働き、女は家庭を守るべきである」という考え方について	14
(2) 「男は仕事、女は家庭」という考え方について	17
(3) 男女の地位の平等観	19
3. 結婚・家庭生活・子育て・介護について	
(1) 結婚・家庭・離婚についての考え	36
(2) 夫婦の役割分担	48
(3) 夫婦の役割分担の満足度	74
(4) 自分の子どもの育て方	76
(5) 父親の育児参加に対する考え	78
(6) 男性が育児休業や介護休業を取得することについての考え	80
4. 女性と仕事について	
(1) 女性が職業をもつことについての考え	83
(1-1) 女性が結婚後や出産後も退職せずに働き続けるために重要なこと	86
(1-2) 結婚や出産のために退職した女性が再就職するために重要なこと	91
(2) 男女が共に仕事と家庭の両立をしていくために必要な条件	96
(3) 職場での男女の平等観	98

目 次

5. 男女の地域・社会参画について	
(1) 地域活動への参加状況	109
(1-1) 地域活動に参加していない理由	113
(2) 政策方針決定の場への女性の参画について	116
(2-1) 政策方針決定の場への女性の参画を増やすために必要なこと	118
6. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について	
(1) 「家庭生活」、「仕事」、「地域活動」の希望の優先度	120
(2) 「家庭生活」、「仕事」、「地域活動」について現実に優先しているもの	123
7. 女性に対する暴力について	
(1) 夫婦間での暴力に対する考え	126
(2) 配偶者から暴力を受けた経験	132
(2-1) 配偶者から受けた暴力についての相談相手	136
(2-2) 配偶者から受けた暴力について相談しなかった理由	139
(3) メディアでの性別による固定的な役割分担表現や、女性に対する暴力や性の表現についての考え	142
8. 男女共同参画を推進するための取組について	
(1) 女性の参画を進める必要がある分野	144
(2) 男女共同参画を推進するためにできること	146
(3) 男女共同参画社会を実現するために県が力を入れるべきこと	149
(4) 男女共同参画に関する社会の動きや言葉の認知状況	161
Ⅲ 調査票	163
Ⅳ 集計表	181